※ 記 入 例

＜4 種ウイルス疾患（麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎）フローチャート＞

医療機関の記録または母子手帳でワクチンを接種したことが…

【A】 2回確認できる

【B】 1回確認できる

【C】 全く確認できない

【D】 抗体検査をせずに、少なくとも1ヶ月以上あけて、2回予防接種を受ける。

【E】 「抗体価検査」を実施する。

※必ず指定の検査法にて実施すること。

前回接種より少なくとも1ヶ月以上あけて、さらに1回ワクチン接種を受ける

記入例①

2回のワクチン接種日を記入し、ワクチン接種が証明できる書類または母子手帳のコピーを提出

※（接種後の）抗体検査は必須ではない

【E-③】 **抗体陰性**

【E-②】 **抗体陽性**
（基準を満たさない）

【E-①】 **抗体陽性**
（基準を満たす）

少なくとも1ヶ月以上あけて、2回予防接種を受ける。

1回ワクチン接種を受ける。

抗体検査法と抗体価を記録し、結果を証明できる書類を提出する。

記入例③

抗体検査法および抗体価と2回ワクチン接種日を記録し、抗体結果とワクチン接種歴が証明できる書類を提出する。

※（接種後の）抗体検査は必須ではない

記入例②

抗体検査法および抗体価と1回ワクチン接種日を記録し、抗体結果とワクチン接種歴が証明できる書類を提出する。

※（接種後の）抗体検査は必須ではない

記入例①：パターン【B】の場合（麻疹）

職種：看護師
入職日：2017 年 4 月 1 日
記入日：2017 年 2 月 26 日
提出締切：2017 年 3 月 1 日

医療機関の記録または母子手帳でワクチンを接種したことが、

【B】1 回確認できる

→前回接種より少なくとも 1 ヶ月以上あけて、さらに 1 回ワクチン接種を受け、計 2 回の接種記録を（表 1）に記入。……対応終了。

（表 1）

接種回数	ワクチン名（該当するものに○）	接種年月日	証明書類の情報源（該当するものに○）※要提出
1 回目	麻疹単独・MR・MMR	西暦 1991 年 3 月 1 日	母子手帳 ・ 医療機関証明書 ・ 学校証明書 その他（ ）
2 回目	麻疹単独・MR・MMR	西暦 2017 年 2 月 19 日	母子手帳 ・ 医療機関証明書 ・ 学校証明書 その他（ ）

母子手帳に接種記録が 1 回あったので、2 回目のワクチン接種を実施した。ワクチン接種が 2 回証明できるので対応完了。

記入例②：パターン【E−②】の場合（風疹）

医療機関の記録または母子手帳でワクチンを接種したことが、

【C】全く確認できない

→【E】抗体価検査を実施の上、（表 2）に記入。抗体価に応じた回数のワクチン接種を実施する。

①……対応終了。

②1 回ワクチン接種を実施の上、接種記録を（表 1）に記入。……対応終了。

③2 回ワクチン接種を実施の上、接種記録を（表 1）に記入。……対応終了。

（表 1）

接種回数	ワクチン名（該当するものに○）	接種年月日	証明書類の情報源（該当するものに○）※要提出
1 回目	風疹単独・MR・MMR	西暦 2017 年 2 月 19 日	母子手帳 ・ 医療機関証明書 ・ 学校証明書 その他（ ）
2 回目	風疹単独・MR・MMR	西暦 年 月 日	母子手帳 ・ 医療機関証明書 ・ 学校証明書 その他（ ）

②抗体価結果より、風疹は入職までにワクチン接種 1 回が必要。麻疹も同様に接種 1 回が必要だった為、MR ワクチンを接種し、風疹と麻疹ワクチンの同時接種を 2/19 に行い、対応完了。

（表 2）

抗体検査の種類（該当する検査法に○）	抗体価	抗体測定日	証明書類の情報源（該当するものに○）※要提出
EIA 法・HI 法	7.0	西暦 2016 年 12 月 10 日	母子手帳 ・ 医療機関証明書 ・ 学校証明書 その他（ ）

①風疹は過去のワクチン接種をした記録がない為、直近で実施していた抗体検査の結果を記入。
抗体価は「7.0」で基準では「陽性（基準を満たさない）」の為、ワクチン接種が 1 回必要。

記入例③：パターン【E－③】の場合（水痘）

3. 水痘

医療機関の記録または母子手帳でワクチンを接種したことが、

【C】全く確認できない。

└▶【E】抗体価検査を実施の上、（表 2）に記入。抗体価に応じた回数のワクチン接種を実施する。

① ……対応終了。

②1 回ワクチン接種を実施の上、接種記録を（表 1）に記入。 ……対応終了。

③2 回ワクチン接種を実施の上、接種記録を（表 1）に記入。 ……対応終了。

（表 1）

接種回数	ワクチン名	接種年月日	証明書類の情報源（該当するものに〇）※要提出
1 回目	水痘単独	西暦 2017 年 2 月 19 日	母子手帳 ・ 医療機関証明書 ・ 学校証明書 その他（ ）
2 回目	水痘単独	（入職前対応予定日） 西暦 2017 年 3 月 19 日	母子手帳 ・ 医療機関証明書 ・ 学校証明書 その他（ ）

②抗体価結果より、風疹は入職までにワクチン接種 2 回が必要。

1 回目）

MR ワクチンを接種する際に、水痘ワクチンの同時接種を 2/19 に行った。

2 回目）

2 回目の接種は 1 回目から 1 ヶ月以上期間をあける必要があるので、3/19 に実施する予約を行った。

抗体調査表の提出が 3/1〆切なので、3/19 に接種する予定として（入職前対応予定日）を記入した。

※2 回目のワクチン接種の医療機関証明書は入職日当日に持参する。

（表 2）

抗体検査の種類（該当する検査法に〇）	抗体価	抗体測定日	証明書類の情報源（該当するものに〇）※要提出
EIA 法・IAHA 法・中和法	0.9（陰性）	西暦 2016 年 12 月 10 日	母子手帳 ・ 医療機関証明書 ・ 学校証明書 その他（ ）

①水痘はワクチン接種をした記録がない為、直近で実施していた抗体検査の結果を記入。

抗体価は「0.9」.基準では「陰性」の為、ワクチンが 2 回必要。

4. 流行性耳下腺炎（ムンプス）※省略

※ 記 入 例

5. B 型肝炎

B 型肝炎に関する入職前対応内容の確認手順について

3)「自身の B 型肝炎に関する現状確認表」

自身の B 型肝炎に関する現状（パターン a ～ d ）	≪B 型肝炎対応確認表≫（次頁）
c）ワクチン接種歴は存在しないが、HBs 抗原・HBs 抗体検査結果が存在する場合。	（4）（5）（6）いずれかより対応開始。

≪B 型肝炎対応確認表≫

（4）検査結果が、「HBs 抗原（－）・HBs 抗体（10mIU/ml 未満）」の場合。	
対応【D】	1 シリーズ（3 回：0、1、6 ヶ月）接種を実施し、3 回目接種から **1～2 ヶ月後**に HBs 抗体検査を実施する。HBs 抗体検査結果が 〔D-1〕10mIU/ml **以上**の場合、【A】へ。 〔D-2〕10mIU/ml **未満**の場合、【B】へ。

①ワクチン接種歴は存在しないが、HBs 抗原・HBs 抗体検査結果が存在する。
検査結果は、「HBs 抗原（－）・HBs 抗体（8.0 mIU/ml）」であった為、【対応 D】を実施する。
⇒【対応 D】1 シリーズ（3 回：0、1、6 ヶ月）接種を実施し、3 回目接種から 1～2 ヶ月後に HBs 抗体検査を実施する。

（ 表 1 ）

	回数	接種年月日	証明書類の情報源（該当するものに○）
1 シリーズ目	1 回目	西暦 2017 年 2 月 19 日	母子手帳・医療機関証明書・学校証明書・その他（ ）・証明書なし
	2 回目	（入職前対応予定日） 西暦 2017 年 3 月 19 日	母子手帳・医療機関証明書・学校証明書・その他（ ）・証明書なし
	3 回目	（入職後対応） 西暦 年 月 日	母子手帳・医療機関証明書・学校証明書・その他（ ）・証明書なし

1 シリーズ接種後の検査結果		抗体検査の種類（該当する検査法に○）	抗体測定日	証明書類の情報源（該当するものに○）
HBs 抗体（必須）		EIA 法・CLIA 法・RIA 法	（入職後対応） 西暦 年 月 日	母子手帳・医療機関証明書・学校証明書・その他（ ）
HBs 抗原（※1）		EIA 法・CLIA 法・RIA 法	西暦 年 月 日	母子手帳・医療機関証明書・学校証明書・その他（ ）

※1、ワクチン接種後の HB s 抗原検査は必須ではない。

②【対応 D】1 シリーズ（3 回：0、1、6 ヶ月）接種を実施し、3 回目接種から 1～2 ヶ月後に HBs 抗体検査を実施する必要があるが、入職前までに期間が短い為、1 回目の接種を終えた所で、抗体調査表は一旦提出する（3/1〆切）。抗体調査表には、2 回目は（入職前対応）、3 回目とその後の抗体検査は（入職後対応）とする旨を明記する。（※B 型肝炎のみ、入職後のフォローを可とする）